自ら考え学び合い 心豊かにたくましく生きる児童の育成

子どもと共に

宮内小だより

<u>No.</u> 3

http://www.hatsukaichi-edu.jp/miyauchi-e/

令和 5年 5月 31日 廿日市市立宮内小学校

命の大切さについて考えました





毎年5月8日は「命の大切さについて考える日」として、廿日市市内の全小中学校で命やいじめについて考える取組を行っています。

平成25年5月8日、市内の中学生がいじめを誘因として自ら命を絶つという大変痛ましい出来事がありました。このようなことを二度と繰り返してはならないというたくさんの人々の思いから、平成26年より、「命の大切さについて考える日」の取組が始まりました。

今年は、5月8日(月)に体育館で行いました(体育館に全校児童が集まるのは約3年ぶりです。十分に換気を





して対面で実施しました)。校長先生より、宮内小ではいじめを絶対に許さないこと、考えて行動することの大切さについてのお話を聞いた後、各学級で道徳の授業で命の大切さについて学習したり、運営委員会が考えたスローガンを基に各学級でもスローガンを考えたりしました。この取組が、この日だけの取組にならないように、今後も各学級でスローガンを振り返りながら、全ての子ども達が自分らしく安心して過ごすことができる学級・学校を目指していきます。以下に「いじめに関する3つのポイント」や各学級のスローガンを載せています。ご家庭でも、話題にしてみてください。

【いじめに関する3つのポイント】

○ いじめは絶対に許さない

どんな小さないじめも許さないという考えのもと、二度と同じ出来事を繰り返さないためにみんなでできることを考え、行動しましょう。

○ 自分や他の人の命を大切にする

いじめによって自分や他人の命が脅かされることがあってはなりません。そのためにもお互いを思いやり、認め合うことの大切さについて考え、行動しましょう。

○ |人でかかえ込まず、相談する

いじめによってつらい思いをすることがないように、また、一人で抱え込むことがないように、周 りの人に相談しましょう。

宮内小学校 各クラスのスローガン



自ら学び伸び合う宮内っ子への取組



生活のきまり(生徒指導規程)は、みんなが楽しく安全に学校で生活 するためのきまりとして設けられているものです。今年度、自分達の

くらしは自分達でよりよくできることを実感させること、自分達が作ったきまりを自分達で守っていく態度を育てることを目的として、生活のきまりについて協議し、見直していきます。協議は、最高学年である6年生の各学級での意見を代表である生徒指導規程改正委員が生徒指導規程改正委員会において行います。この取組は始まったばりですが、自分達の生活は自分達で考えてよりよく変えられるという実感をもてるように進めてまいります。

ご存知ですか?「栄養教諭」 ~栄養教諭の大野早百合です~

食生活を取り巻く社会環境が大きく変化し食生活の多様化が進む中で、子ども達が将来にわたって健康に生活していけるよう、「食の自己管理能力」や「望ましい食習慣」を身につけさせることが必要となっています。このため、食に関する指導(学校における食育)の推進に中核的な役割を担う「栄養教諭」制度が創設され、平成 17 年度から施行されています。今年度、本校に栄養教諭の大野早百合が赴任しました。栄養教諭の

主な職務は、食に関する指導と学校給食の管理です。 指導を行ったり、廿日市市学校給食センターで学校 給食を管理したりしています。食と栄養の専門知識 をもとに、食物アレルギーや偏食等の相談にも応じ ます。

